

ドイツリート 連続演奏会

Vol.2

～ピアニストから見たドイツリートの魅力(プレトーク付き)～

ピアノ・お話 **大場 俊一**

ソプラノ **朴 瑛実**

バリトン **成瀬 当正**

R.シューマン作曲

歌曲集「ミルテの花」Op.25より

「献呈」「蓮の花」ほか

歌曲集「女の愛と生涯」Op.42 全8曲

歌曲集「詩人の恋」Op.48 全16曲

2020年11月23日(月・祝) 開場 13:00 プレトーク 13:30
開演 14:10

宇都宮市文化会館小ホール 全自由席 ¥3,000

お問い合わせ：028-648-4684 大場

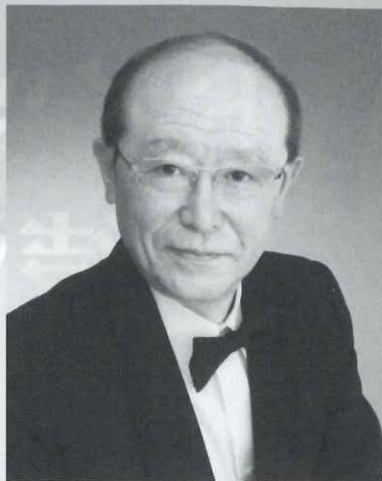
共催：公益財団法人 うつのみや文化創造財団

後援：宇都宮市／宇都宮市教育委員会／朝日新聞宇都宮総局／下野新聞
東京藝術大学同声会栃木支部

ーチケット取扱いー

宇都宮市文化会館プレイガイド 028-634-6244

栃木県総合文化センタープレイガイド 028-643-1013



ピアノ

大場 俊一 (おおば しゅんいち)

- 1965 東京藝術大学音楽学部楽理科卒業 在学中安宅賞受賞
- 1968 旧西ドイツ・デトモルト音楽大学留学
- 1969 西ドイツ新進演奏家オーディションに合格し、ギーセン音楽祭に出演
- 1970 ザルツブルグ夏期講座において、師ヴァイセンボルの助手を勤める
- 1972 帰国後、独奏者として、また歌曲の伴奏者、室内楽奏者として活発な演奏活動を開始し、楽壇の注目を集める。
- 1983 20世紀最高のソプラノ歌手エリザベート・シュヴァルツコップフ女史のマスタークラスで、伴奏と通訳を勤める。

ピアノを瀬川慶子、野呂愛子、小林道夫、クラウス・シルデ、歌曲伴奏法及び室内楽をギュンター・ヴァイセンボルの各氏に師事。ソロリサイタルの他に、著名な演奏家との共演が多く、その音楽に対する豊かな感受性、鋭い分析力を踏まえた緻密な演奏は高く評価されている。

長年にわたり、東京藝術大学、埼玉大学教育学部、東邦音楽大学大学院で後進の指導にあたった。

NHK/毎日新聞主催「日本音楽コンクール」をはじめ、多数のコンクールの審査員を務めている。

2011~2013 5回に渡りモーツァルト全ソナタ連続演奏会を行う。

また、学会においても「モーツァルトのピアノ曲の演奏法」などを発表した。

現在 埼玉大学名誉教授 東京藝術大学同声会栃木支部長 日本音楽表現学会会員 栃木日独協会会員

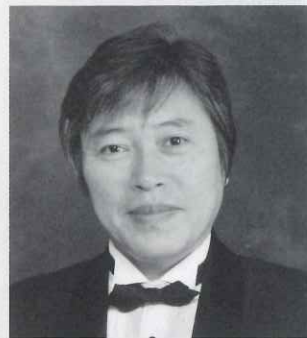


ソプラノ

朴 瑛実 (ぼく てるみ)

早稲田大学第一文学部卒業。東京藝術大学音楽学部卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程、博士後期課程修了。藝大在学中、安宅賞受賞。平成16年度友愛ドイツ歌曲コンクール第2位、2008年、NHK・毎日新聞社主催日本音楽コンクール声楽歌曲部門入選、2010年、同日本音楽コンクール声楽歌曲部門第1位、併せて岩谷賞、木下賞受賞。2013年度三菱地所賞受賞。これまでにJ.S. バッハによる教会カンタータや受難曲、《ト長調ミサ》《ロ短調ミサ》、ヘンデル《主は言われた》《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン《合唱幻想曲》《ハ長調ミサ》《第九交響曲》《ミサ・ソレムニス》、ハイドン《天地創造》《四季》、シューベルト《変イ長調ミサ》《変ホ長調ミサ》《ミリアムの勝利の歌》、メンデルスゾーン《聖パウロ》、ブラームス《ドイツレクイエム》、ヴェルディ《レクイエム》、ドヴォルジャーク《スターバト・マーテル》《レクイエム》、グノー《聖セシリアミサ》ラター《子供のためのミサ》等のソプラノ独唱を務めた。声楽を佐々木正利、故 朝倉蒼生、佐竹由美、佐々木典子の各氏に師事。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校講師。



バリトン

成瀬 当正 (なるせ あつまさ)

東京音楽大学付属高等学校を経て同大学声楽科卒業。同研究科修了。

在学時より古典派からロマン派ドイツ歌曲、バロックから近代にいたる宗教曲、声楽曲を専門に研さんを積む。

1986年 東京文化会館新人オーディション合格。同デビュー演奏会出演。

1991年 日本シューベルト教会国際歌曲コンクール総合第一位、大賞受賞。

1992、94年、NHK、毎日新聞社主催日本音楽コンクール声楽歌曲部門入選。

毎年行われるドイツ歌曲リサイタルでは小林道夫氏、大場俊一氏、落合茂氏、安嶋健太郎氏を共演者にいづれも「詩情豊かな表現」「奥深い芸術性」を高く評価される。独日文化協会主催により1996年、2000年、2007年にドイツ各地にてドイツ歌曲、日本歌曲を披露、各紙に於いて「洗練された歌唱」と好評を得る。

宗教曲等独唱者としてはバッハを主に首都圏、関西を中心に全国で演奏活動を行っている。

的確な解釈と声域を越えた歌唱テクニック、アンサンブル感に全国の「バッハ研究会」で絶賛されている。

日本歌曲に於いては毎年レクチャーコンサートを開催し美しい日本語と「格調ある歌唱」を評価されている。

2011年5月より東日本大震災復興支援チャリティーコンサートを、復興宣言がなされる日まで継続する企画を始め、昨年まで10回の演奏会を行っている。

ドイツ歌曲を持田篤氏、オペラを栗林義信氏に師事。

東京音楽大学講師。同付属高等学校講師。茨城県立水戸第三高等学校音楽科講師。